

講義名	自己発見とキャリア開発 B (K56 : 水 2 クラス)		
担当教員	安本 博司		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	演習
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

学部留学生として必要な基礎的かつ総合的な日本語力を定着させ、さらにそれを応用できることを目的とする。日本語を読む、聴く、書く、話す等を中心に学び、より高度な日本語の文章力およびコミュニケーション能力を高める。アクティブ・ラーニングを心がけたクラス活動を行うことを目指す。

**到達目標**

学部留学生が、基礎的かつ総合的な日本語力を定着させ、より高度な日本語の文章力、聴解力、およびコミュニケーション能力を高めることができる。  
 作せて、ポートフォリオが作成できる文字力、聴解力等の日本語力を高めることができる。  
 学部留学生が、アクティブ・ラーニング等によるクラス活動を通して、総合的な日本語能力を高める必要があることに気づくことができることを目標とする。

**提出課題**

予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

毎回課題を出し結果を説明する。

**評価の基準**

課題の提出（50%）、レポートの内容（50%）による総合評価を行う。  
 オンデマンド受講の場合も同様である。

**履修にあたっての注意・助言他**

全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。  
 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

<b>教科書</b>				
.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

授業内で配布する。

**授業計画**

第1回から第15回まで次のことについて内容を変え学習する。  
 ・間違いやすい発音や文法などの基本的な聞き取り練習をする。聞き取りのパターンについて学ぶ。日常生活でよく聞かれるいろいろな場面や内容に関する表現について学習する。  
 ・発音、文法、会話表現、発話表現、即時応答、課題・ポイント・概要理解、町、天気予報、交通情報、学校、職場、病院、店、人や物のようす、場所・方向・位置、数字・計算、順序・比較等々の聴解について学ぶ。  
 書く  
 ・日常生活でよく使われ役に立つ語彙などをトピックや使いごとに学習する。短い文や語句、イラスト等を使って効率よく学ぶ。  
 ・レポート作成を行う。レポートに関しては、日本または世界で起こっている社会的な問題をテーマに取り上げ、レポートを1200～1600字程度で作成する。完成したレポートは、各グループで発表し合う。

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>			
<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク		
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク		
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

事前に配布する資料を熟読し、課題や問題点をまとめたり、分からない文法や語彙などがあつたら、意味や用法を調べておく...各授業2時間程度  
 毎回配布した資料を熟読し、理解が不十分だった点を確認する...各授業2時間程度

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

留学生を対象とした科目群で、日本語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材を育成する科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**